

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課												
	作成責任者	井上 和成												
	事業名	環境基本計画推進事業												
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費	会計	一般会計	事業コード	520113	決算付属資料	154	頁
	施策体系	施策コード	040401	施策名	環境学習を推進する									
	開始年度	平成16年度												
	終了予定年度	令和6年度												
	関連計画等	第2期福知山市環境基本計画												
	根拠法令等	環境基本法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	第2期福知山市環境基本計画に掲げる総合ビジョンを実現する。 総合ビジョンは、10年後～四半世紀後の福知山の将来像を表すもので、自然を大切に、人を大切に、資源を大切に、その循環(環[わ])を大切に暮らした暮らしを営みながら、すばらしい知恵や知識を次世代へとつなげていく「まち」、共に幸せを生きる“福知山”を一人ひとりが創りあげながら実現する。										
	対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等	福知山環境会議										
	事業概要	第2期福知山市環境基本計画に掲げるリーディングプロジェクトを、環境ボランティア団体である「福知山環境会議」が市と協働して実施し、計画で掲げる福知山の将来像(総合ビジョン)を実現していく。 リーディングプロジェクトの主なものとして、「みどりのカーテン実施率日本一」「福知山の自然体験」「由良川・里山」「生きもの調査」「サケの飼育と採捕・放流」「ごみの減量と生ごみの堆肥化による資源の有効利用」がある。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容								H30経費	
業務委託料		福知山市環境基本計画推進事業委託業務								679		
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	750	680	680	638	588					
		②補正予算	0	0	0	0	0					
		③流充用額	0	0	0	0	0					
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0	0	0					
				0	0	0	0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	375	340	340	319	294					
		国支出金	0	0	0	0	0					
		府支出金	375	340	340	319	294					
		地方債	0	0	0	0	0					
		その他特財	0	0	0	0	0					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	環境基本計画推進事業(みらい戦略一括交付金)			種類	府補助金	実績金額	339	決算付属資料	24	頁
		特財名称				種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.70/0.20	0.7 / 0.1	0.51 / 0.1	0.51 / 0.1							
⑤概算人件費	6,100	5,850	4,330	4,330								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,850	6,530	5,010	4,968								
⑦執行額	750	679	679									
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	99.9%	99.9%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		「みどりのカーテン」実施率	%	10 / 12	11.7 / 15	8.3 / 16	/ 17	25
		Co2削減効果	t・Co2	385/457	460/591	328/630	/ 669	984
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		プロジェクト実施回数	回	98 / 114	136/116	81/118	/ 120	140
		単位あたりコスト		7.7	5.0	8.4		
			/	/	/	/		

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・本市の環境啓発活動の中心となる事業で、市民に浸透しており、目的達成に不可欠な事業である。市民ボランティア的な活動であり、行政と協働での実施を原則としている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市民・事業者らが無報酬で活動しており、委託料の内訳は、消耗品等の経費が大半を占める。必要最低限の経費で様々な活動が行われている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・市内の様々な団体、事業者、学校と交流や連携しながら協働で活動できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	市民、事業者、行政が協働で環境基本計画を推進していくなかで、各プロジェクトが取り組む環境啓発活動には毎年多くの参加があり、一定の成果は得ることができた。ただ、みどりのカーテン実施率については、異常気象による7月豪雨や猛暑が影響し、目標値には大きく届かず実施率は低下した結果となった。今後、実施率を上げるには、みどりのカーテンによるエネルギー消費削減率を具体的な数値で示すなど、その効果や利点を具体的に訴えて、取り組むことが重要であり、その他のプロジェクトについても、同様の視点で、参加人数だけでなく、目指しているビジョンの達成度を考えながら進めていく必要がある。			
今後の課題及び方向性	みどりのカーテン活動は、単に実施するだけでなく、地球温暖化防止にどれだけ効果があったかを重視し、みどりのカーテンによる電力削減量の算定式を設定、電気代削減効果及びCO2削減効果でPRする。 リーディングプロジェクトのうち、軌道に乗って順調に進んでいるものと、軌道に乗っていないものとの差が生じているので、軌道に乗っていないものに重点を置いて、計画を進める。			

庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	所見	
	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	所見	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】